

2020年度放課後等デイサービス 自己評価及び分析と改善

		山梨県 富士真田園		
チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0
	2 職員の配置数は適切であるか	5	0	0
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	1	1
	分析	環境整備については改善を行ってきた。正職員4人体制であり、パート職員を配置しているため、適切な職員体制になっている。コロナ対策として施設の環境整備が必要と判断している。		
改善方針	療育スペースを広げる工事を行い、withコロナでの安心した療育環境の整備を行う。			
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	3	2	0
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	0
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	0	4
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0
	分析	第三者による外部評価は行ってないが、業務システムによる標準化やマニュアルなどにより業務の標準化を達成している。外部講師による教育セミナーを業務に支障のない時間帯に、1回/月開催している。		
	改善方針	グループウェア(ガルーン)、業務システム(HUG)、管理システムによるロジカルチェックでの業務の統一化とリスク管理委員会の運営により、第三者による外部評価は行わないでも問題ないしと判断している。		
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を策定しているか	5	0	0
10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	
11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	1	0	
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	0	
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	3	2	0	
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	
15 支援開始前には必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	
16 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	0	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを必要性を判断しているか	5	0	0	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	0	0	
分析	職員が療育現場で考察した療育方法をベルテールTVとして取り纏めている。内容は、「ライフトレーニング」「リズム遊び」「制作」「読み聞かせ」「折り紙」「感覚統合」「運動遊び」などの療育コンテンツを作成して、各園での療育教材として活用している。			
改善方針	運動療育を行うための療育スペースを広げて環境の改善を図る。			
関係 機関 や 保護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した職員が参加しているか	5	0	0
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	1	0
	23 既学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有を相互理解に努めているか	4	1	0
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	0
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	0
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4
	27 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか	5	0	0
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	0
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	2	1	2
分析	学校との情報共有による、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持って運営をしています。			
改善方針	地域連携での対応としては、まだ不十分な状況なので、相談支援事業所と連携を深めて子供たちのサポートを進めていきます。地域の福祉事業所が参加可能なセミナー開催を検討します。			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30 運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明は行っているか	5	0	0
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0
	35 個人情報に十分注意しているか	5	0	0
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	0	1
	分析	保護者会の開催はおこなっていませんが、HPでのブログ、ベルテール通信、活動記録、連絡ノートなどの実施による情報共有を積極的に進めています。		
	改善方針	情報を共有するために「療育の活動記録」や「サービス提供記録」を保護者と共有します。地域に開かれた施設運営を行う為に発達障害の啓発活動として地域セミナーの開催を検討します。		
非 常 時 の 対 応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	0
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	3	0
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか	5	0	0
43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	
分析	各園のリスクマネージャーが参加するリスク管理委員会によりヒヤリハット分析を毎月行って周知徹底しています。身体拘束については、保護者に十分な説明後に保護者に同意を取って支援計画に記載していますが、組織的に決定していない場合があります。			
改善方針	組織的に決定するためのワークフローを策定し職員全員に共有する。			